



No. 3 2

有脇小学校校長だより

2020・1・28

すてきな歌声が響きました



半田市小学校音楽会が1月24日に雁宿ホールで開催されました。有脇小学校は4～6年生が参加しました。12月から音楽の授業で取り組みはじめ、1月に入って合同で合唱練習をしました。曲は「桜の季節」と「いのちの歌」の2曲です。音楽は表現活動だと思います。ただ、美術や書と違って表現した「作品」が形として残りません。「演奏」が作品です。子どもたちに最後の練習の時に次のような話をしました。「今から絵を描きます。演奏の前のシーンとなった静けさは、真っ白な画用紙です。その画用紙に歌（演奏）で絵を描いていきます。演奏の途中で話し声や笑い声、雑音が入ったなら、それは歌っている（演奏している）人が一生懸命描いた絵に黒のクレヨンで落書きをすることです。そして絵の完成は、音楽会で歌うことです。自分たちの合唱を、思いを誰かに聴いてもらってはじめて作品は完成するのです。」本番で子どもたちは、とてもすてきな作品を完成させることができました。

昨年末の紅白 内容豊かかったです

音楽会の後、学校で子どもたちに4つの質問（アンケート）をしました。【①本番のときはどうでしたか。10点満点で評価してください。それはどうしてですか。②雁宿ホールのステージで歌ったときの気持ちを書きましょう。③学校で練習しているときの気

持ちを書きましょう。④合唱がじょうずになるためには何が大切だと思いますか。】です。①では、約9割の子どもが7点以上をつけていました。10点の子どももいました。何がうれしかったかと言えば、すべての子どもがちゃんと理由を書いていたことです。ただなんとなくではなく、ちゃんと自分たちの合唱を分析することができるということです。そして④では、全員がなんらかの「大切なこと」を書いていた。これは全員が「合唱がじょうずになるためには何をすればいいのか」を知っているということです。書かれていた内容は、技術的なこと、楽曲への思い、歌うときの意識や練習方法などそれぞれでした。その中で「一人一人が全員に合わせようとする気持ち」「みんなと心をつなぐこと」「まわりの人の歌声をよく聴いて合わせる」「お客さんの気持ちを考える」というものがありました。合唱は一人ではできません。仲間がいて、聴いてくれる人がいてはじめて合唱ができあがります。少し大げさかもしれませんが、子どもたちは、仲間を信じることや仲間を気遣うことを合唱を通して感じてくれたと思います。



CACケーブルテレビで、この音楽会の模様が以下の予定で放送されます。ぜひご覧ください。

放送期間 2月10日～29日	
月曜日	9:00
火曜日	20:30
水曜日	13:00
金曜日	17:30
土曜日	13:00
	19:00
日曜日	22:00



トントントン跳びます



1月27日から31日まで「なわとび運動」が行われています。大放課にスマイル団（縦割りのグループ）で活動します。その説明を27日の朝会で生活委員会が行いました。長縄を使って、決められた時間に飛ぶことができた回数を記録します。失敗しても、ゼロには戻りません。回数は続きます。失敗を心配しなくてもいいシステムです。

運動場のなわとび練習板を、学校運営協議会の委員さんが修繕してくださいました。ここでも子どもたちは地域の方に支えられています。ありがとうございました。